

蜘蛛巣城 (1957)

メディア 映画
ジャンル 時代劇 ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 110分
初公開日 1957/01/15
映倫 PG12

【解説】

シェイクスピアの『マクベス』を日本の戦国時代に置き換え様式美に拘り描いた戦国武将の一大悲劇。鷲津武時は謀反を起こした敵を討ち、その帰途の森で出会った老婆から不思議な予言を聞く。やがて予言通り事が運び始めると、欲望に取り憑かれた妻にそそのかされて主を殺し、自ら城主の地位につくのだが……。やはり圧巻は三船マクベスが、これでもか、という矢の雨あられに曝されるラストシーン。黒澤監督、かなりムチャしてます。

【クレジット】

監督	黒澤明	Akira Kurosawa	
製作	本木荘二郎		
	黒澤明	Akira Kurosawa	
原作	ウィリアム・シェイクスピア	William Shakespeare	『マクベス』
脚本	小国英雄	Hideo Oguni	
	橋本忍	Shinobu Hashimoto	
	菊島隆三	Kikushima Ryuzou	
	黒澤明	Akira Kurosawa	
撮影	中井朝一		
美術	村木与四郎		
音楽	佐藤勝		
特殊技術	東宝技術部		
照明	岸田九一郎		
記録	野上照代		
出演	三船敏郎	Toshiro Mifune	鷲津武時
	山田五十鈴		妻浅茅
	志村喬		小田倉則保
	久保明		義照（三木義明の嫡子）
	太刀川洋一		国丸（都筑国丸の嫡子）
	千秋実		三木義明
	佐々木孝丸		城主都築国春
	清水元		鷲津の郎党 1
	藤木悠		鷲津の郎党 2
	土屋嘉男		鷲津の郎党 3
	浅野光男		鷲津の郎党 4

大友伸
佐田豊
高堂国典
富田仲次郎
稲葉義男
土屋詩朗
高木新平
増田正雄
松下猛夫
大友純
上田吉二郎
谷晃
堺左千夫
沢村いき雄
大村千吉
三好栄子
浪花千栄子
恩田清二郎
笈川武夫
桜井巨郎
井上昭文
小池朝雄
坪野鎌之
加藤武
高木均
樋口迪也
大橋史典
木村功
宮口精二
中村伸郎

鷲津の郎党 5
鷲津の郎党 6
武将 1
武将 2
武将 3
武将 4
武将 5
武将 6
武将 7
武将 8
鷲津の親兵 A
鷲津の親兵 B
鷲津の親兵 C
鷲津の親兵 D
鷲津の親兵 E
城の老女
物の怪の老婆
三木の郎党 1
三木の郎党 2
都築の使武者 1
都築の使武者 2
都築の使武者 3
都築の使武者 4
都築警護の武士 1
都築警護の武士 2
都築警護の武士 3
先ぶれの武者
幻の武者 1
幻の武者 2
幻の武者 3